



♣グリーン電力出資金出資者
♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

グリーンコープでんき通信 VOL.16

2018年10月22日発行
一般社団法人グリーン・市民電力



「熊本復興ソーラー」とは・・・。

～GCくまもとエリアにある、店舗・福祉センター・配送センターなどの屋根にソーラーパネル（低圧）を取り付け、発電した電気を九州電力に売電。その収益を「水俣病を忘れないために」、そして「熊本地震からの復興のために」、その取り組みの原資として設立が準備されている「熊本水俣再生基金」（仮称）に拠出・活かされていくことになっています～

2016年4月14日・16日の熊本地震から早や2年半が過ぎましたが、その復興はなかなか進んでいません。入居期限を過ぎて今なお、再建の目途が立っていない人たちはたくさんおり、県は今年10月、二度目の入居期限延長を発表しました。施工業者不足が再建遅延の原因の一つと言われています。

GCくまもとは、震源地に近い益城町などなかなか再建できずに仮設住宅で生活している被災者にむけた支援をずっと続けています。その支援のカタチは、被災者の生活に合わせて少し変わってきています。とりわけ高齢者は、震災以前の生活環境とは違う仮設の中でひきこもりがちです。そのような高齢者のみなさんに「みんなで作って食べることの楽しさ」を実感してもらえるよう、この夏から「大人食堂」の取り組みがスタートしています。これからも熊本地震からの復興、真に被災者らが自らの生活を取り戻していくには、時間と支援が必要です。その原資として、「熊本復興ソーラー」の収益が使われます。

※「熊本復興ソーラー」の呼称について、グリーンコープ生協くまもとで検討し、「グリーン未来ソーラー」と名付けられました

★熊本水俣再生基金(仮称)

2017年秋、水俣病の公式確認から61年目に熊本で初めて「水俣病展」が開催されました。この取り組みを受けてあらためて、水俣病の真実と福島原発事故がもたらしている状況（経済が優先され、いのちが軽んじられる）が似ていることを知りました。

そのような時だからこそ、水俣病を忘れずに社会に発信していく必要があることを強く意識しました。そこで今年1月水俣市に建設された「水俣薄原太陽光発電所」の収益の一部を原資に「熊本水俣再生基金」が設立されることになりました。

グリーン未来ソーラー(10カ所)

発電所名	売電開始	定格出力
グリーン未来ソーラー(ゆるりの家)	2018年6月	17
グリーン未来ソーラー(県南センター)	2018年6月	39
グリーン未来ソーラー(にこにこ三里木)	2018年6月	23
グリーン未来ソーラー(福祉センター)	2018年6月	23
グリーン未来ソーラー(平成さくら通り店)	2018年7月	23
グリーン未来ソーラー(荒尾店)	2018年6月	27
グリーン未来ソーラー(ちなむ)	2018年6月	21
グリーン未来ソーラー(県央東)	2018年7月	60
グリーン未来ソーラー(西部センター)	2018年7月	71
グリーン未来ソーラー(熊本物流センター)	2018年7月	72

ゆるりの家天草



平成さくら通り店



福祉センター豊野



《お詫びと訂正》

本誌15号1面に竣工式会場名が違っていました。お詫びして訂正します。
(語)純和風旅館泉
(正)純和風旅館泉屋

「原発フリー」をめざす“グリーンコープでんき”。それなのに、大手電力会社に支払う「託送料金（電線使用料）」には、原発に使われる費用が含まれています。それは不自然でおかしくないかと考え、九州電力にどうしてそうなるのか、お尋ねしています。
《その15》

2020年4月から、託送料金の中に、原発のための新たな負担金として、「賠償負担金」「廃炉円滑化負担金」という2つが新たに転嫁されることが、経済産業省内で決められようとしています。

＜シリーズ第9回＞

前号に続き「廃炉円滑化負担金」に関して分からないことを経済産業省に尋ねています。それは、廃炉に伴う「放射性廃棄物処理」に要するコストのことです。このコストの肥大化の財源をどうしていくのでしょうか。次のような報道があります。

① 原発を解体した時に出る「低レベル放射性廃棄物」について、原発の廃炉を計画している大手電力7社がいずれも処分地を確保できていないことが、電力各社を対象に実施したアンケートで明らかになった。一部は地中に10万年も埋める必要があるが、埋める場所が見つからなければ廃炉作業も滞りかねない。低レベル廃棄物のうち、廃炉作業で出た分は、電力各社が責任を持って処分するきまりだ。低レベル廃棄物の処分地を確保しているかたずねたところ、廃炉の計画がある東京、中部、関西、中国、四国、九州の各電力と日本原電の7社は確保できていないと答えた。110万キロワット級の原発1基を解体すると、1万トン超の低レベル廃棄物が出て、汚染レベルが高い順にL1～L3に分類される。このうち制御棒などのL1は地下70メートル超に300～400年埋める必要があり、その後、国が10万年管理することになっている。東電福島第一原発事故後、電力各社は次々と廃炉を決定している。現在は17基の廃炉計画があり、これから作業が本格化するが、原子炉から出る部品などは放射線量が高く、施設内に仮置きして作業す

ることは難しいとされる。処分地を選定し、地元自治体の了解を得るには相当の時間がかかるとみられ、その間、廃炉作業の中断を余儀なくされる可能性がある。原発から出るごみには、使用済み核燃料を再処理してでてきた高レベル放射性廃棄物もあり、国の責任で処分地探しを進めている。低レベル廃棄物の処分地探しも同様に、国の関与を求める声が電力業界などから高まる可能性がある。

＜2018年2月16日朝日新聞より＞

② 東京電力福島第一原発事故の影響で規制が強化され、運転終了に追い込まれる原発が相次ぐ「廃炉時代」に、置き去りにしてきた廃棄物処理の問題は深刻さを増している。国内の商業用原発で初めて廃炉が決まった東海原発。原発専門会社の日本原子力発電（原電）が2001年から解体工事を進める。当初、17年度を予定していた工事の完了時期は2回も延期され、25年度に先送りされている。制御棒など放射能レベルが高いL1や、L2の処分地はまだ確保できておらず、原電幹部は「工事に全く影響がないとは言えない」と話す。現時

点で将来的に処分地を確保できる見込みがあると答えた会社はなかった。処分地が見つからなければ、解体作業が遅れて費用が膨らむ可能性がある。日本の電力会社は1基当たりの解体作業に300億～800億円台の費用を見込んでいる。しかし、海外では1基に1千億円かかるという試算もある。費用は電力会社の見積もりを上回るおそれがある。政権は「福島事故対応費用の増加などを含めても原子力は低

廉な電源（世耕弘成経済産業相）として、30年度までに電源に占める原発の比率を20～22%にするとの目標を掲げ、30基程度を再稼働させる方針だ。だが、高レベル廃棄物だけでなく、低レベル廃棄物の処分先の確保など原子力政策全体の費用が不透明なままでは、政権が主張する「経済性」への疑問は拭えない。

<2018年2月16日朝日新聞より>

そのことに関して経済産業省に、以下四点の「お尋ね」をしています。

1. 廃炉に伴う放射性廃棄物のうち、「低レベル廃棄物」は電力会社の責任で処分地を探し、「高レベル廃棄物」は国の責任で処分地を探すのですか。
2. 仮に廃炉期間を30～40年間として、電力会社が低レベル廃棄物の処分地を見つけることができないで廃炉作業が滞って廃炉費用が当初想定より増えていったとき、その費用は電力会社が負担するのですか。そうした費用増も「廃炉円滑化負担金」の仕組みで託送料金として電気利用者（国民）に負担を求めることにするのですか。
3. 「300～400年」や「10万年」というのは、個人であれ会社であれ行政であれ、ほとんど記憶や記録が成立するような時間概念ではありませんし、「30～40年」であっても、普通の生活や仕事を営んでいる個人や会社や行政にとっては記憶や記録をととても困難にする時間だと言えます。記憶や記録が困難であることを良いことにして、廃炉費用が当初の想定を超えていくとき、その増加分を随意に「廃炉円滑化負担金」を増額させ、電気利用者（国民）に負担させるという考えは持っておられないのですね。

（注）昨年7月の経済産業省令改定案「一般送配電事業託送供給約款料金算定規則」第二十六条の二（変動額認可料金の算定）は次のようになっています。

一般送配電事業者は、法第十八条第一項の規定により同項の認可を受けた託送供給等約款で設定した料金を次に掲げる変動額を基に引き上げようとするときは、第三条から前条までの規定にかかわらず、当該変動額を基に引き上げようとする託送供給等約款で設定する料金を算定することができる。

- 一 賠償負担金相当金の変動額
- 二 廃炉円滑化負担金相当金の変動額
- 三 （略）

4. 国が責任を持つという「高レベル放射性廃棄物」の処分地が見つからず廃炉作業が滞って廃炉費用が増加していく場合はどうなりますか。国が何らかの財源としての手当をするのですか。それとも、廃炉は電力会社が行いますから、電力会社としてその負担をし、それらも「廃炉円滑化負担金」の増加で電気利用者（国民）に負担を求めていくのですか。

以上

■グリーンコープでんき

・グリーンコープでんきの契約数は、10月1日現在、GC事業所やGC商品のお取引先も含め、下表のとおりです。(※供給開始前含む)

単協	契約件数	契約容量(kW)
GC生協おおさか	52	225
GC生協ひょうご	32	160
GC生協とっとり	45	169
GC生協(島根)	67	292
GC生協おかやま	75	300
GC生協ひろしま	100	437
GCやまぐち生協	560	2,312
GC生協ふくおか	1,787	7,425
GC生協さが	102	500
GC生協(長崎)	140	593
GC生協くまもと	489	2,291
GC生協おおいた	275	1,119
GC生協みやざき	132	480
GCかごしま生協	215	907
事業所向け(低圧)	22	72
事業所向け(高圧)	57	4,394
合計	4,150	21,676

■9月にお届けした電気の電源は？

【関西電力エリア】

大阪府内の清掃工場AとB(燃料:一般ごみ)からそれぞれ、全体の7%と93%の割合で、グリーンコープでんきをお届けしました。

【中国電力エリア】

大阪府内の清掃工場A(燃料:一般ごみ)から全体の1%、島根県の清掃工場D(燃料:一般ごみ)から全体の99%の割合で、グリーンコープでんきをお届けしました。

【九州電力エリア】

大阪府内の清掃工場A(燃料:一般ごみ)から全体の2%、兵庫県の清掃工場G(燃料:一般ごみ)から全体の38%、福岡県の清掃工場E(燃料:一般ごみ)から全体の47%、鹿児島県の清掃工場F(燃料:一般ごみ)から全体の13%の割合で、グリーンコープでんきをお届けしました。

★9月も原発の電気は一切お届けしていません。

■今の内にエアコンのフィルターを掃除しておきましょう！

今年の夏は猛暑が続き、電気の使用量に驚かれた方も多いのではないのでしょうか？

エアコンの電気使用量は、フィルターをこまめに掃除することにより、かなり下げることが出来ます。今の内に掃除をしておきましょう。また、待機電力も結構電気を使います。コンセントを抜いても問題ない家電製品は、出来るだけ抜いておくように心がけましょう。

■市民発電所

・グリーン・市民電力が保有している発電所の2018年4月から7月までの実績です。熊本復興ソーラーの名前がグリーンコープ未来ソーラーになりました。

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)
神在太陽光発電所	1,057	550,520	22,020,800
平池水上太陽光発電所	1,260	650,815	23,429,346
深年太陽光発電所	1,550	732,009	26,352,324
若宮物流センター	47	21,324	788,988
広島物流センター	47	23,798	880,526
やまぐち西部地域本部	54	28,283	933,339
グリーン未来ソーラー(10箇所)	244	49,505	1,039,605
合計	4,259	2,056,254	75,444,928

■グリーン電力出資金

・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、8億5,720万円になりました。
・また、出資目標額(積み立て目標額)は、9月25日現在で10億9,040万円になりました。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
GC生協おおさか	224	251	18,160,000
GC生協ひょうご	104	126	8,706,000
GC生協とっとり	139	150	10,900,000
GC(島根)	221	227	11,590,000
GC生協おかやま	156	171	12,050,000
GC生協ひろしま	665	762	72,195,000
GCやまぐち生協	605	694	44,770,000
GC生協ふくおか	5,276	5,956	514,364,000
GC生協さが	327	363	44,455,000
GC生協(長崎)	582	638	56,593,000
GC生協くまもと	1,501	1,688	124,529,000
GC生協おおいた	790	873	70,084,000
GC生協みやざき	302	335	27,265,000
GCかごしま生協	703	770	74,742,000
合計	11,595	13,004	1,090,403,000

・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費用などの一部に充てています。
・2018年9月末の支出総額は8億4,881万円で、残高は840万円となっています。
・市民発電所の建設について、継続して調査や検討をすすめていますので、今後ともグリーン電力出資へのご参加をよろしくお願ひします。

これまで出資いただいた金額	857,208,000
これまで支出した事業と金額	848,810,221
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーンコープ未来ソーラー発電所、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所(建設中)、しましま小水力発電所(準備中)、霧島太陽光発電所(準備中)、熊本菊池太陽光発電所、国東第二自然電力太陽光発電所	
グリーン電力出資金の残高	8,397,779